

令和7年12月21日（日）《午前》
第13期Aコース研修生 「成果報告会」

オーストラリア及びニュージーランドへの留学を終えて帰国した第13期Aコース研修生が、班ごとに分かれてゼミナール研究の成果発表を行いました。

研修生は、留学前に日本で取り組んできたゼミナール研究に、留学先での現地調査や体験を加え、研究内容をさらに深めてきました。発表では、地域を活性化する観光の在り方、食と環境を守る食品ロスの解決、海洋プラスチック問題への対応、植物性タンパク質食品の魅力と普及策など、地球規模の課題に向き合い、その解決策を探る多様な研究成果が報告されました。

いずれの研究も、日本で行った文献調査や自治体等へのインタビューに加え、留学先での現地調査を踏まえて分析・考察されたもので、内容の充実した、価値ある発表となりました。また、留学中に身に付けた英語での表現力やプレゼンテーション能力を生かし、自信に満ちた堂々とした発表を行う研修生の姿が多く見られました。

研修生たちは、留学を通して得た学びや経験を研究成果としてまとめ上げ、大きな達成感とともに、次の学びへとつなげています。



令和7年12月21日（日）《午前》

第13期Aコース研修生 「帰国オリエンテーション」

成果報告会終了後には、帰国オリエンテーションを行いました。このオリエンテーションは、研修生同士が留学中の体験を語り合い、これからの生き方や進路について考えることを目的とした研修プログラムです。

研修では、「留学を通して自分はどのように変わったか」「次世代リーダー育成道場は自分にとってどのような意味があったのか」「今、自分が心に抱いている『ミッション』（どのような世界をつくりたいか）」といったテーマについて、研修生同士が率直に語り合いました。ファシリテーターによる英語でのテンポのよい進行のもと、研修生一人一人が自分の思いや考えを言葉にし、活発な意見交換が行われました。

その後、第13期Aコース研修生の数名が、次世代リーダー育成道場の修了生とともに、これから留学を控える第14期Aコース研修生に向けて、自身の留学体験を伝えました。留学生活での学びや苦勞、心構えなどについて話し、後輩からのさまざまな相談にも応じました。

同じ次世代リーダー育成道場で学ぶ、あるいは学んだ仲間同士だからこそ生まれる、熱意あふれる交流の場となり、研修生たちは次のステップへとつながる大きな刺激を受けました。

